

大学名 佐賀大学

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題 理工学の専門性を総力化した地域防災や自治体DX等に向けた地元自治体との連携事業

## 特色ある取組

### 理工学部コミュニティデザイン研究会

鹿島市・唐津市・嬉野市・有田町等の歴史的環境の活用に向け、連携協定等に基づき、建築空間の計画・設計、現地調査・ワークショップを継続的に実施。鹿島市肥前浜宿では地域との密接な関係で建物整備等が進み、地域防災や観光支援の提案も行い、環境整備に寄与しています。

<https://mishimanlab.sakura.ne.jp/communitydesign/>

### 理工学部スマート化推進研究会

「佐賀大学理工学部と多久市の連携協定」に基づき、多久市のデジタル技術利活用の推進に向けた研修会や業務プロセスのデジタル化や市民の利便性向上に向けたワークショップを開催。全体研修会では100名を超える多久市役所職員が参加。ワークショップでは15名の多久市職員と佐賀大学3学部15名の学生、及び教職員等3名が参加し、3回にわたって実施されました。

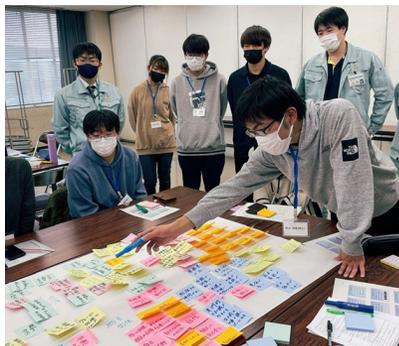
<http://saga-u-smart-project.matrix.jp/wp2/>



唐津市呼子の実測調査



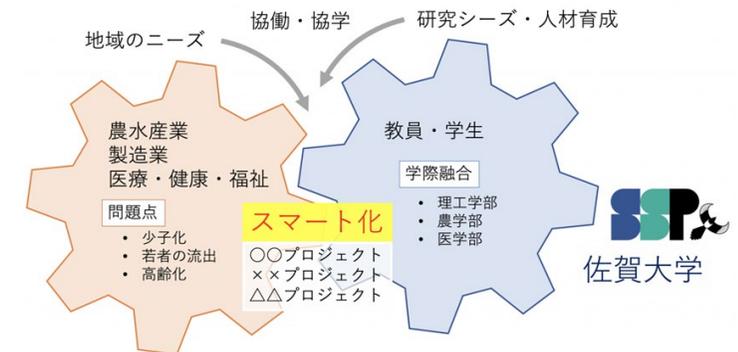
JR長崎本線肥前浜駅



多久市のワークショップ

## 期待できる成果・評価

佐賀県唯一の総合大学としての知見を、理工学部が複数の地元自治体と連携協定を締結して住民サービス等に活用。中長期的にステークホルダから期待される佐賀大学となることが期待できます。



地域連携のイメージ